



JR松戸駅前に3月、聖徳大学の「生涯学習社会貢献センター」がオープンする。16階建てのこのビルが「生涯学習とまちづくり」を結びつける全国拠点になる」と話す。

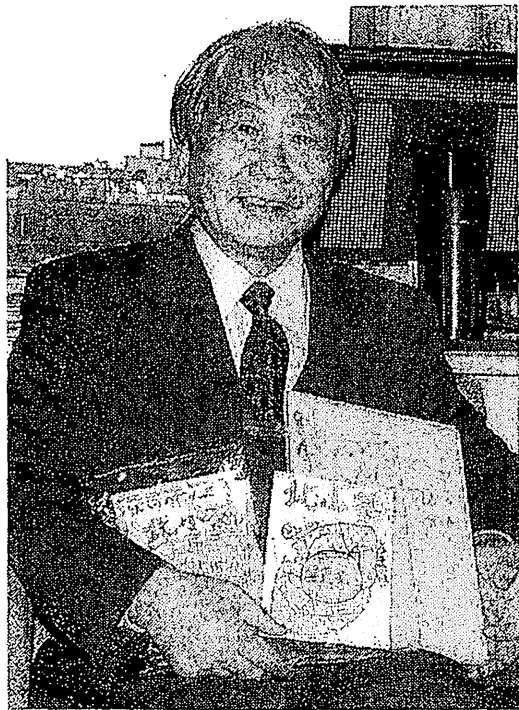
定年を迎えた社員や子育てを終えた主婦らを「創年」と名付けた。「元々何かやりたくてしょうがない人たち。地域にかかわることで元気になっていく」という。こうした人たちをまちづくりの主役の「地域アニメーター」として育てる。

地域活性化論やリーダーシップ論などを学んでもいい、NPO法人「全国生涯学習まちづくり協会」でアニメーターと認定する。毎年4千人を養成してい

## 福留強・聖徳大学生涯学習研究所長(64)

### 「生涯学習」

# まちづくり紹介社会貢献



福留強所長が手に持つのは、小学生が作ったお茶と「創年のたまり場」1号店のメニュー

る。  
まちづくりの研修などで、これまでにかかわった自治体は900を超える。  
鹿児島県姶良町では、2人の主婦が面

白い人や店を発掘し、「あいあいマップ」を作った。うわさが広まり、県内から人が集まった。同県名瀬市では「子ども居場所を考える」というテーマでワークショップを開いた。主婦らが町内14の児童公園で、時間帯による利用人数、遊具の種類と使われ方などを調べた。詳細な内容は、「職員でもできない」と同市に驚かれた。

「市民がやれば、まちは変わる。何も無いまちはフアイトがわく」と笑う。

子どもをまちづくりの主役にする「ことにも力を入れる。」「平成子どもふるさと検地」と名付けた活動では、お年寄りと一緒に町を探検、史跡や神社仏閣などを探す。小、中学生の時にこの子も1回は表彰する「子はめ案例」も提唱し、全国16市町村で制定された。

現在、力を入れるのは「創年のたまり場」。個人の住宅などを開放し、お茶を飲みながらまちづくりや子育てを話し合う場で、全国1万カ所が目標だ。県内第1号が白井市に今月できる。



名刺 多いときには月600枚にもなる。人のネットワークは宝。相手の印象を書き留め、自治体ごとにファイルしている。